

広島県子供の生活に関する実態調査 結果速報(暫定値)

広島県では、すべての子供たちが、夢や希望に向かってチャレンジできる広島県を目指し、この度、市町と連携して県内すべての地域の子供たちの生活実態を調査しました。小学校5年生、中学校2年生とその保護者を対象とした調査の結果速報（暫定値）は、以下のとおりです。

調査の概要

区 分		小学5年生の世帯	中学2年生の世帯
調査対象者数	子 供	11,532 人	10,956 人
	保護者	11,532 人	10,956 人
有効回答数 (回答率)	子 供	7,623 人 (66.1%)	6,676 人 (60.9%)
	保護者	7,657 人 (66.4%)	6,688 人 (61.0%)
調査対象者		小学校5年生とその保護者、中学校2年生とその保護者	
調査方法		無記名、密封調査	
調査時期		令和5年6月～9月	

※三原市調査分は含まれていない

【本調査における「生活状況」の取り扱いについて】

本調査では、保護者・子供の生活状況について、全体的な実態を把握するとともに、内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析」に合わせ、世帯の年間収入の水準について、同居家族の人数の情報も踏まえて下記のような処理をし、等価世帯収入による分類を行った。

等価世帯収入の水準

《算出される基準》

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。
- 上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

※本資料の主な調査結果以降の集計については、自治体ごとの回収率の違いを調整するための統計的な処理に基づく集計（ウェイト付き集計）となっている。

主な調査結果

1 経済的な状況

経済的な状況は、「中央値の2分の1未満」が小学校5年生の世帯で9.1%、中学校2年生の世帯で9.4%であった。また、子供の親の婚姻状況別でみると、ひとり親世帯のうち、「中央値の2分の1未満」の割合は、小学校5年生の世帯で47.4%、中学校2年生の世帯で47.0%であった。

区 分	小学5年生の世帯	中学2年生の世帯
中央値の2分の1未満	9.1%	9.4%
中央値の2分の1以上 中央値未満	33.7%	30.1%
中央値以上	52.5%	54.3%

<子供の親の婚姻状況別>

区 分		ふたり親世帯	ひとり親世帯	ひとり親世帯 (母子世帯のみ)
中央値の2分の1未満	小学5年生	4.9%	47.4%	52.6%
	中学2年生	4.8%	47.0%	51.6%
中央値の2分の1以上 中央値未満	小学5年生	33.9%	33.7%	31.7%
	中学2年生	29.7%	34.6%	32.6%
中央値以上	小学5年生	56.6%	15.2%	12.2%
	中学2年生	59.6%	13.1%	10.6%

2 子供の学び

収入の水準が低い世帯は、収入の水準が高い世帯に比べて、学校の授業以外での勉強をしていない子供の割合がやや多くなっている。また、収入の水準が低い世帯では、学校の授業が分からないと感じる子供の割合が多く、自分自身の成績評価が低い。学校でのつまづきは全体的に小学校低学年の段階から発生しており、収入の水準が低い世帯の場合はその時期がやや早くなっている。

① 学校の授業以外の学習状況

- ・学校の授業以外での学習状況について、学校の授業以外で勉強はしない子供は、小学5年生で4.6%、中学2年生で5.7%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯は、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べて、学校の授業以外で勉強はしない子供の割合がやや多い。

<学校の授業以外での学習状況>

- 小5 「自分で勉強する」：70.7%、「塾で勉強する」：30.6%、「学校の補習を受ける」：2.3%、
「家庭教師に教えてもらう」：0.8%、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」：0.9%、
「家の人に教えてもらう」：45.9%、「友達と勉強する」：19.3%、「その他」：7.7%、
「学校の授業以外で勉強はしない」：4.6%、不明・無回答：0.7%
- 中2 「自分で勉強する」：75.1%、「塾で勉強する」：39.8%、「学校の補習を受ける」：5.2%、
「家庭教師に教えてもらう」：1.7%、「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」：0.5%、
「家の人に教えてもらう」：24.2%、「友達と勉強する」：26.6%、「その他」：4.1%、
「学校の授業以外で勉強はしない」：5.7%、不明・無回答：1.0%

<等価世帯収入の水準別>

「学校の授業以外で勉強はしない」と回答した児童生徒の割合

- 小5 中央値の2分の1未満：6.7%、中央値の2分の1以上中央値未満：5.5%、中央値以上：3.6%
中2 中央値の2分の1未満：12.0%、中央値の2分の1以上中央値未満：6.9%、中央値以上：4.0%

② 自分自身によるクラスの中での成績評価

- ・クラスの中での成績について、「やや下のほう」「下のほう」と回答した割合は、小学5年生で20.5%、中学2年生で36.2%となっている。
- ・自分自身の成績評価が低い子供の割合は、等価世帯収入の水準が低い世帯ほど多い。

<自分自身によるクラスの中での成績評価>

- 小5 「上のほう」：12.6%、「やや上のほう」：19.3%、「まん中あたり」：34.2%、
「やや下のほう」：12.2%、「下のほう」：8.3%、「わからない」：12.7%、不明・無回答：0.7%
- 中2 「上のほう」：9.3%、「やや上のほう」：17.9%、「まん中あたり」：30.7%、
「やや下のほう」：17.8%、「下のほう」：18.4%、「わからない」：5.3%、不明・無回答：0.7%

<等価世帯収入の水準別>

成績が「下のほう」「やや下のほう」と回答した児童生徒の割合

- 小5 中央値の2分の1未満：29.4%、中央値の2分の1以上中央値未満：25.8%、中央値以上：15.2%
中2 中央値の2分の1未満：52.0%、中央値の2分の1以上中央値未満：40.7%、中央値以上：30.2%

③ 学校の授業の理解度

- ・ 授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と感じる子供は、小学5年生で5.3%、中学2年生で8.7%となっている。
- ・ 授業が分からないと感じる子供の割合は、等価世帯収入の水準が低い世帯ほど多い。

<学校の授業の理解状況>

- 小5 「いつもわかる」：19.3%、「だいたいわかる」：46.4%、
「教科によってはわからないことがある」：27.8%、「わからないことが多い」：4.2%、
「ほとんどわからない」：1.1%、不明・無回答：1.2%
- 中2 「いつもわかる」：10.9%、「だいたいわかる」：39.8%、
「教科によってはわからないことがある」：39.6%、「わからないことが多い」：6.4%、
「ほとんどわからない」：2.3%、不明・無回答：1.1%

<等価世帯収入の水準別>

授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した児童生徒の割合

- 小5 中央値の2分の1未満：8.7%、中央値の2分の1以上中央値未満：6.9%、中央値以上：3.4%
- 中2 中央値の2分の1未満：15.2%、中央値の2分の1以上中央値未満：11.2%、中央値以上：6.0%

④ 授業が分からなくなった時期

- ・ 授業が分からなくなった時期について、小学生では「1・2年生のころ」までに分からなくなった、中学生では「小学5・6年生のころ」までに分からなくなったと回答した子供の割合は、等価世帯収入の水準が低い世帯ほど多い。

<授業が分からなくなった時期>

- 小5 「1・2年生のころ」：10.3%、「3年生のころ」：22.2%、「4年生のころ」：38.0%、
「5年生になってから」：28.4%、不明・無回答：1.1%
- 中2 「小学1・2年生のころ」：3.5%、「小学3・4年生のころ」：6.6%、
「小学5・6年生のころ」：17.1%、「中学1年生のころ」：52.8%、
「中学2年生になってから」：19.8%、不明・無回答：0.3%

<等価世帯収入の水準別>

授業が分からなくなってきた時期（小学生では「1・2年生のころ」までに、中学生では「小学5・6年生のころ」までに）の割合

- 小5 中央値の2分の1未満：13.7%、中央値の2分の1以上中央値未満：10.6%、中央値以上：9.4%
- 中2 中央値の2分の1未満：37.5%、中央値の2分の1以上中央値未満：31.3%、中央値以上：22.6%

⑤ 進学したいと思う教育段階

- ・将来、どの段階まで進学したいかについて、大学またはそれ以上の段階まで進学を希望する子供の割合は、小学5年生で34.4%、中学2年生で42.8%となっている。
- ・将来、大学またはそれ以上の段階まで進学を希望する子供の割合は、等価世帯収入の水準が低い世帯ほど少ない。

<進学したいと思う教育段階>

小5 「中学」：1.5%、「中学、高校」：16.3%、「中学、高校、専門学校」：13.7%、
「中学、5年制の高等専門学校」：0.6%、「中学、高校、短大」：3.0%、
「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」：30.2%、
「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」：4.2%、「その他」：0.6%、
「まだわからない」：28.6%、不明・無回答：1.3%

中2 「中学」：0.2%、「中学、高校」：13.6%、「中学、高校、専門学校」：11.8%、
「中学、5年制の高等専門学校」：0.9%、「中学、高校、短大」：2.8%、
「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」：38.4%、
「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」：4.4%、「その他」：0.4%、
「まだわからない」：26.1%、不明・無回答：1.4%

<等価世帯収入の水準別>

「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」と回答した児童生徒の割合

小5 中央値の2分の1未満：20.1%、中央値の2分の1以上中央値未満：26.1%、中央値以上：43.1%

中2 中央値の2分の1未満：23.9%、中央値の2分の1以上中央値未満：32.7%、中央値以上：52.7%

3 子供の生活習慣・健康状態

収入の水準が低い世帯では、収入の水準が高い世帯に比べて、朝食の欠食や就寝時間が不規則である割合が高い。

① 朝食をとる頻度

- ・朝食をとる頻度について、「毎日食べる（週 7 日）」と回答した子供は小学 5 年生で 88.1%、中学 2 年生で 81.2%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯では、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ、朝食を毎日食べる子供の割合が少ない。

<朝食をとる頻度>

小 5 「毎日食べる（週 7 日）」：88.1%、「週 5～6 日」：6.5%、「週 3～4 日」：2.0%、
「週 1～2 日、ほとんど食べない」：2.7%、不明・無回答：0.6%
中 2 「毎日食べる（週 7 日）」：81.2%、「週 5～6 日」：10.4%、「週 3～4 日」：2.9%、
「週 1～2 日、ほとんど食べない」：4.8%、不明・無回答：0.7%

<等価世帯収入の水準別>

朝食をとる頻度で「毎日食べる（週 7 日）」と回答した児童生徒の割合

小 5 中央値の 2 分の 1 未満：82.9%、中央値の 2 分の 1 以上中央値未満：85.5%、中央値以上：90.8%
中 2 中央値の 2 分の 1 未満：72.6%、中央値の 2 分の 1 以上中央値未満：80.4%、中央値以上：83.3%

② 平日の就寝時間

- ・平日にほぼ同じ時間に寝ているかについて、「そうである」「どちらかといえばそうである」と回答した子供は、小学 5 年生で 79.9%、中学 2 年生で 82.4%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯では、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ、就寝時間が一定である子供の割合がやや少ない。

<平日の就寝時間について、ほぼ同じ時間に寝ているか>

小 5 「そうである」：35.2%、「どちらかといえばそうである」：44.7%、
「どちらかといえばそうではない」：13.4%、「そうではない」：6.1%、不明・無回答：0.7%
中 2 「そうである」：36.4%、「どちらかといえばそうである」：46.0%、
「どちらかといえばそうではない」：12.1%、「そうではない」：4.9%、不明・無回答：0.7%

<等価世帯収入の水準別>

ほぼ同じ時間に寝ているかについて「そうである」「どちらかといえばそうである」と回答した児童生徒の割合

小 5 中央値の 2 分の 1 未満：74.4%、中央値の 2 分の 1 以上中央値未満：78.4%、中央値以上：81.9%
中 2 中央値の 2 分の 1 未満：78.8%、中央値の 2 分の 1 以上中央値未満：81.7%、中央値以上：83.6%

4 子供の生活環境

困りごとや悩みごとの相談先で「だれにも相談できない、相談したくない」との回答は等価世帯収入の水準で大きな差はみられない。収入の水準が低い世帯では、収入の水準が高い世帯に比べて、逆境体験を経験している子供の割合が多くなっている。

① 困りごとや悩みごとの相談先

- ・困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人については、「親」が小学5年生で82.5%、中学2年生で69.0%と最も多く、次いで「学校の友達」が小学5年生で58.6%、中学2年生で67.8%となっている。
- ・一方、「だれにも相談できない、相談したくない」と回答した子供は、小学5年生で4.8%、中学2年生で7.3%となっている。
- ・等価世帯収入の水準別でみると、「だれにも相談できない、相談したくない」との回答は大きな差はみられない。

<困りごとや悩みごとを相談できると思う相手>

小5	「親」：82.5%、「きょうだい」：26.1%、「祖父母など」：20.5%、「学校の先生」：35.2%、 「学校の友達」：58.6%、「学校外の友達」：15.0%、 「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」：4.3%、 「その他の大人」：5.9%、「ネットで知り合った人」：1.2%、 「だれにも相談できない、相談したくない」：4.8%、不明・無回答：0.8%
中2	「親」：69.0%、「きょうだい」：20.7%、「祖父母など」：12.9%、「学校の先生」：26.3%、 「学校の友達」：67.8%、「学校外の友達」：18.5%、 「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」：5.0%、 「その他の大人」：5.3%、「ネットで知り合った人」：5.0%、 「だれにも相談できない、相談したくない」：7.3%、不明・無回答：1.1%

<等価世帯収入の水準別>

困っていることや悩みごとがあるときの相談先について、「だれにも相談できない、相談したくない」と回答した児童生徒の割合

小5	中央値の2分の1未満：5.6%、中央値の2分の1以上中央値未満：4.4%、中央値以上：5.1%
中2	中央値の2分の1未満：7.8%、中央値の2分の1以上中央値未満：7.8%、中央値以上：6.9%

② 逆境体験

- ・逆境体験について、1個以上あてはまる子供の割合は、小学5年生で20.8%、中学2年生で22.4%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯では、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ、1個以上あてはまる子供の割合が多い。

<逆境体験について、あてはまる個数>

小5	「ひとつもあてはまらない（0個）」：76.3%、「1個あてはまる」：13.3%、 「2個あてはまる」：4.3%、「3個以上あてはまる」：3.2%、不明・無回答：3.0%
中2	「ひとつもあてはまらない（0個）」：74.6%、「1個あてはまる」：14.3%、 「2個あてはまる」：4.1%、「3個以上あてはまる」：4.0%、不明・無回答：3.0%

<等価世帯収入の水準別>

逆境体験について、1個以上あてはまると回答した児童生徒の割合

小5	中央値の2分の1未満：46.3%、中央値の2分の1以上中央値未満：21.4%、中央値以上：16.4%
中2	中央値の2分の1未満：50.9%、中央値の2分の1以上中央値未満：24.4%、中央値以上：16.3%

③ 支援制度・居場所等の利用状況

- ・支援制度、居場所等の利用状況について、「(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (小学生：放課後児童クラブや放課後子供教室、児童館など) (中学生：公民館や図書館など)」を利用したことがある子供は、小学5年生で38.3%、中学2年生で38.3%となっている。
- ・等価世帯収入の水準別でみると、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」を利用したことがある、利用したいと思うとの回答に、大きな差はみられない。

< (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況 >

- 小5 「利用したことがある」：38.3%、「利用したことはない、あれば利用したいと思う」：10.0%、
「利用したことはない、今後も利用したいと思わない」：28.4%、
「利用したことはない、今後も利用したいかどうか分からない」：20.6%、不明・無回答：2.7%
- 中2 「利用したことがある」：38.3%、「利用したことはない、あれば利用したいと思う」：21.3%、
「利用したことはない、今後も利用したいと思わない」：18.0%、
「利用したことはない、今後も利用したいかどうか分からない」：20.5%、不明・無回答：1.9%

< 等価世帯収入の水準別 >

「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」について、「利用したことがある」または「利用したことはない、あれば利用したいと思う」と回答した児童生徒の割合

- 小5 中央値の2分の1未満：48.9%、中央値の2分の1以上中央値未満：46.7%、中央値以上：49.7%
- 中2 中央値の2分の1未満：55.4%、中央値の2分の1以上中央値未満：57.9%、中央値以上：61.5%

④ 自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思うか

- ・「ヤングケアラー」にあてはまると回答した子供は、小学5年生で1.5%、中学2年生で1.0%となっており、「分からない」と回答した子供は、小学5年生で29.1%、中学2年生で22.4%となっている。
- ・等価世帯収入の水準が低い世帯では、等価世帯収入の水準が高い世帯に比べ「ヤングケアラー」にあてはまるか分からないと感じる子供の割合が多い。

< 自分がヤングケアラーにあてはまると思うか >

- 小5 「あてはまる」：1.5%、「あてはまらない」：66.9%、「分からない」：29.1%、
不明・無回答：2.5%
- 中2 「あてはまる」：1.0%、「あてはまらない」：74.2%、「分からない」：22.4%、
不明・無回答：2.4%

< 等価世帯収入の水準別 >

自分がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した児童生徒の割合

- 小5 中央値の2分の1未満：2.2%、中央値の2分の1以上中央値未満：1.9%、中央値以上：1.0%
- 中2 中央値の2分の1未満：2.2%、中央値の2分の1以上中央値未満：1.2%、中央値以上：0.7%

自分がヤングケアラーにあてはまるか「分からない」と回答した児童生徒の割合

- 小5 中央値の2分の1未満：36.7%、中央値の2分の1以上中央値未満：32.3%、中央値以上：25.5%
- 中2 中央値の2分の1未満：29.5%、中央値の2分の1以上中央値未満：25.6%、中央値以上：19.0%

5 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の拡大により減少していた、地域のクラブ活動や学校の部活動等で活動する機会は回復してきている。

① 新型コロナウイルス感染症が拡大する前と拡大していた期間を比べての生活の変化

<学校の授業以外で勉強する時間>

小5 「増えた」：25.2%、「減った」：10.2%、「変わらない」：63.3%、不明・無回答：1.3%

中2 「増えた」：29.6%、「減った」：10.4%、「変わらない」：58.1%、不明・無回答：1.9%

<学校の授業がわからないと感じること>

小5 「増えた」：17.6%、「減った」：19.3%、「変わらない」：61.6%、不明・無回答：1.5%

中2 「増えた」：28.4%、「減った」：8.3%、「変わらない」：61.3%、不明・無回答：2.0%

<地域のクラブ活動や学校の部（クラブ）活動で活動する回数>

小5 「増えた」：16.3%、「減った」：30.7%、「変わらない」：51.3%、不明・無回答：1.7%

中2 「増えた」：22.1%、「減った」：33.7%、「変わらない」：41.9%、不明・無回答：2.2%

<食事を抜く回数>

小5 「増えた」：3.9%、「減った」：6.7%、「変わらない」：87.8%、不明・無回答：1.6%

中2 「増えた」：6.2%、「減った」：4.9%、「変わらない」：87.1%、不明・無回答：1.9%

<夜遅くまで起きている回数>

小5 「増えた」：29.2%、「減った」：9.9%、「変わらない」：59.3%、不明・無回答：1.6%

中2 「増えた」：41.7%、「減った」：4.6%、「変わらない」：51.6%、不明・無回答：2.0%

<親以外の大人や友達と話をすること>

小5 「増えた」：31.4%、「減った」：20.8%、「変わらない」：46.1%、不明・無回答：1.8%

中2 「増えた」：27.5%、「減った」：21.3%、「変わらない」：49.0%、不明・無回答：2.2%

<親以外の大人や友達の素顔を見ること>

小5 「増えた」：20.1%、「減った」：40.6%、「変わらない」：37.5%、不明・無回答：1.8%

中2 「増えた」：14.9%、「減った」：49.5%、「変わらない」：33.4%、不明・無回答：2.1%

<イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと>

小5 「増えた」：24.1%、「減った」：16.2%、「変わらない」：58.2%、不明・無回答：1.5%

中2 「増えた」：30.6%、「減った」：8.3%、「変わらない」：59.1%、不明・無回答：2.0%

<家族で外食する回数>

小5 「増えた」：14.2%、「減った」：49.7%、「変わらない」：34.8%、不明・無回答：1.3%

中2 「増えた」：7.7%、「減った」：53.2%、「変わらない」：37.1%、不明・無回答：2.0%

<家族で旅行する回数>

小5 「増えた」：8.6%、「減った」：50.2%、「変わらない」：39.6%、不明・無回答：1.6%

中2 「増えた」：4.8%、「減った」：55.5%、「変わらない」：37.9%、不明・無回答：1.9%

<野外レジャーに行く回数（キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）>

小5 「増えた」：11.8%、「減った」：40.3%、「変わらない」：46.5%、不明・無回答：1.4%

中2 「増えた」：6.7%、「減った」：47.2%、「変わらない」：44.1%、不明・無回答：2.0%

<屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）>

小5 「増えた」：13.6%、「減った」：41.8%、「変わらない」：43.1%、不明・無回答：1.5%

中2 「増えた」：12.5%、「減った」：42.9%、「変わらない」：42.6%、不明・無回答：2.0%

<家族で家で過ごす時間>

小5 「増えた」：56.3%、「減った」：6.6%、「変わらない」：35.6%、不明・無回答：1.5%

中2 「増えた」：55.4%、「減った」：7.8%、「変わらない」：34.8%、不明・無回答：2.0%

② 新型コロナウイルス感染症が拡大していた期間と現在を比べての生活の変化

<学校の授業以外で勉強する時間>

小5 「増えた」：28.2%、「減った」：8.3%、「変わらない」：61.8%、不明・無回答：1.6%
中2 「増えた」：30.5%、「減った」：10.1%、「変わらない」：57.3%、不明・無回答：2.1%

<学校の授業がわからないと感じること>

小5 「増えた」：15.2%、「減った」：20.6%、「変わらない」：62.5%、不明・無回答：1.7%
中2 「増えた」：25.3%、「減った」：10.6%、「変わらない」：61.8%、不明・無回答：2.3%

<地域のクラブ活動や学校の部（クラブ）活動で活動する回数>

小5 「増えた」：32.1%、「減った」：11.9%、「変わらない」：53.9%、不明・無回答：2.1%
中2 「増えた」：40.2%、「減った」：13.4%、「変わらない」：44.1%、不明・無回答：2.3%

<食事を抜く回数>

小5 「増えた」：3.4%、「減った」：8.4%、「変わらない」：86.3%、不明・無回答：1.8%
中2 「増えた」：5.9%、「減った」：5.7%、「変わらない」：86.1%、不明・無回答：2.3%

<夜遅くまで起きている回数>

小5 「増えた」：25.9%、「減った」：10.3%、「変わらない」：61.8%、不明・無回答：2.0%
中2 「増えた」：33.3%、「減った」：6.4%、「変わらない」：57.9%、不明・無回答：2.4%

<親以外の大人や友達と話をすること>

小5 「増えた」：43.2%、「減った」：8.9%、「変わらない」：46.0%、不明・無回答：1.9%
中2 「増えた」：39.0%、「減った」：8.6%、「変わらない」：50.0%、不明・無回答：2.4%

<親以外の大人や友達の素顔を見ること>

小5 「増えた」：44.7%、「減った」：14.5%、「変わらない」：38.8%、不明・無回答：2.0%
中2 「増えた」：40.5%、「減った」：17.4%、「変わらない」：39.8%、不明・無回答：2.3%

<イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと>

小5 「増えた」：16.9%、「減った」：20.4%、「変わらない」：60.7%、不明・無回答：2.0%
中2 「増えた」：22.4%、「減った」：10.7%、「変わらない」：64.6%、不明・無回答：2.3%

<家族で外食する回数>

小5 「増えた」：38.8%、「減った」：20.6%、「変わらない」：38.7%、不明・無回答：1.9%
中2 「増えた」：30.4%、「減った」：21.7%、「変わらない」：45.7%、不明・無回答：2.3%

<家族で旅行する回数>

小5 「増えた」：25.6%、「減った」：22.6%、「変わらない」：49.8%、不明・無回答：1.9%
中2 「増えた」：19.0%、「減った」：24.0%、「変わらない」：54.7%、不明・無回答：2.3%

<野外レジャーに行く回数（キャンプ、バーベキュー、スポーツ観戦、海水浴など）>

小5 「増えた」：24.5%、「減った」：19.7%、「変わらない」：53.8%、不明・無回答：2.0%
中2 「増えた」：18.0%、「減った」：21.3%、「変わらない」：58.3%、不明・無回答：2.3%

<屋内施設に行く回数（映画、水族館、博物館、美術館など）>

小5 「増えた」：30.9%、「減った」：19.0%、「変わらない」：48.1%、不明・無回答：2.0%
中2 「増えた」：28.1%、「減った」：19.5%、「変わらない」：50.1%、不明・無回答：2.3%

<家族で家で過ごす時間>

小5 「増えた」：32.5%、「減った」：16.4%、「変わらない」：49.3%、不明・無回答：1.7%
中2 「増えた」：27.6%、「減った」：17.6%、「変わらない」：52.6%、不明・無回答：2.3%

6 広島県の子供政策への希望

広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うことについては、小学5年生、中学2年生どちらも「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」と回答した子供が最も多い。

＜広島県の子供に関する取組で、特に力を入れてほしいと思うこと＞

- 小5 「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」：10.6%
「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」：30.5%
「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」：11.7%
「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」：20.8%
「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」：16.9%
「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」：20.5%
「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」：27.1%
「家族と暮らすことのできない子供への支援」：18.2%
「ひとり親の子供やその家族への支援」：11.2%
「障害のある子供やその家族への支援」：25.6%
「わからない」：32.5%
不明・無回答：2.9%
- 中2 「0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育内容の充実」：11.4%
「小学校・中学校・高校で、将来社会で活躍するために必要な力をつける」：36.5%
「妊娠期からの子育て家庭への支援の充実」：14.7%
「家庭や学校以外で子供たちが安心して過ごせる場所の充実」：19.1%
「子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備」：23.8%
「子供と子育てにやさしい生活環境の整備と安全の確保」：16.7%
「児童虐待（体罰や暴言、育児放棄等）の防止」：30.0%
「家族と暮らすことのできない子供への支援」：14.8%
「ひとり親の子供やその家族への支援」：16.0%
「障害のある子供やその家族への支援」：22.3%
「わからない」：27.5%
不明・無回答：2.6%